北海道新幹線開業による波及効果と課題(函館市)

函館市観光部観光推進課長 扇谷 圭一

(1) 青函連携事業について (第1回フォーラム(H27.11.13)の際に青森市との合同発表で紹介した取り組み)

①青森県・函館デスティネーションキャンペーン

JRが実施する青函DCの実施(H28.7~28.9)に向けて,関係機関や青森・道南の各自治体と連携し,一体的なプロモーションを実施。



②青函観光宣伝協議会

青函観光を宣伝紹介し、誘客を図ることを目的に、青森市・函館市の2市により昭和50年に設立。 ねぶた祭と港まつりの相互交流や共同プロモーションなどを実施。 H27は「東北復興大祭典なかの」への共同出展や観光情報誌「まっぷる」に企画記事を掲載した。



3青函圏周遊博

平成28年4月から始まる青森・弘前・八戸・函館の青函圏4市を巡る広域観光キャンペーン。 平成27年度は総合ガイドブック春夏号を作成し、主に首都圏等を中心に積極的に開催PRを行った。平成28年4月、東京駅でのオープニングセレモニーを皮切りにスタート。



④青函圏 みなみ北海道連絡会議

青函圏・みなみ北海道を中心に47自治体および2団体で構成される協議会。 各地域の取組みやイベント情報等を共有し、ホームページによりそれらを一元的に発信。



(2) 北海道新幹線開業直後の状況

①新幹線の利用状況

<開業後3日間>

平均乗車人数 約9,900人/1日 前年同期(在来線) 約4,000人/1日 **前年比約2.5倍**

<開業後1ヶ月間>(3/26~4/25)

平均乗車人数 約5,600人/1日 前年同期(在来線) 約2,800人/1日 **前年比約2倍**



②その他交通機関の利用状況および5月大型連休の状況

○新幹線との相乗効果により航空機,フェリー利用者が増加。市電・バス等市内の公共交通機関の利用者も増加。

(新聞報道および事業者への聞き取り結果)

- 開業後3日間の羽田線各社の平均搭乗率 88%~ほぼ満席 昨年3月の各社平均は50~70% ・航空機
- ・津軽海峡フェリー 開業後6日間の利用者数 3,414人 前年比 約114%
- 開業後2日間 平均乗車人数/1日 **約17,600人 前年比 約130%**(約14,100人)
- ・市内観光バス3路線(※) 開業後14日間 平均乗車人数/1日 約800人 前年比 約300% (約260人) ※元町・ベイエリア周遊号、ロープウェイシャトルバス、五稜郭タワー・トラピスチヌシャトルバスの3路線
- ○5月の大型連体における新幹線の輸送実績および市内観光施設の来場者も大幅に増加。
 - ・4/28~5/8 北海道新幹線の輸送実績 新青森~新函館北斗間 約10万7千人 前年比193% (約5万6千人) ※夜行列車分を除くと210%超
 - ・4/29~5/8 五稜郭タワー搭乗人員 約68,000人 **前年比134%(約51,000人)**
- ○北海道新幹線開業によりメディア等の注目度がアップ。函館エリア着の旅行商品も次々と造成され、春の国内人気商品に!
 - ・大手旅行会社エイチ・アイ・エス 「この春に行きたい!国内の春の絶景ランキング」アンケート調査 「**五稜郭公園の桜**」が 1 位に(2位 奈良・吉野千本桜,3位 京都・哲学の道の桜)
 - ・日本旅行業協会 今春の大型連休旅行動向調査 国内旅行人気ランキングで**北海道**が1位に(前年4位)



(3) 今後の課題

開業による観光客の増加や地元の盛り上がりを一過性のもので終わらせないよう,**今後を見据えた広域連携**が必要

<青森エリアとの連携強化> 北海道新幹線の開業により, 青森エリアとの人・モノ・情報の交流がより活発に

観光メニュー,周遊ルート,旅行商品, グルメ・土産品・イベント等のコラボ企画 など 様々な青函連携の可能性が潜在

「青函圏」という新たな観光エリアの定着化・ブランド化 を図り、様々な分野での青函連携を推進

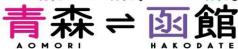


<大型キャンペーン>

青森県・函館デスティネーションキャンペーン

JRグループと青森・道南参加自治体が連携して 開催する観光キャンペーン。(平成28年7月~9月)

ひと旅ふた旅、めぐる旅。



青函圏周遊博 ぐつとくる旅

青森市,弘前市,八戸市,函館市の青函圏4市を巡る 広域観光周遊キャンペーン(4月~2月)





<広域観光情報の発信強化>

新幹線開業により青函・道南エリアに注目が集まっている とは言え,まだまだ平日の新幹線利用者が少ない

青函・道南エリアには年間を通して様々な観光資源が存在。 滞在日数を増やすためには、それらの情報を一元的に発信 することが必要

"横"の繋がりを深め、広域での情報発信力を強化し、 エリア全体に開業の効果を波及させる仕組みが必要



<情報発信・広域連携>

青函圏みなみ北海道連絡会議

HP等での一元的な情報発信や 各種プロモーション・イベント等 での相互連携

